



漁師の仕事、若い世代の注目を集める！

漁業就業支援フェア 2019『漁師の仕事！まるごとイベント』

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区)では、漁業や漁師の魅力を知ってもらうとともに、漁業就業への間口を広げ、漁師を目指す人を支援する取組の一環として、毎年度「漁業就業支援フェア」を開催しております。

このたび、2019年度フェアとして、「漁業就業支援フェア 2019『漁師の仕事！まるごとイベント』」を 福岡(6月15日)、東京(7月6日)、大阪(7月20日)で開催します。

【開催概要】

開催地	出展予定 団体数	来場者 見込み	開催日時	会場
福岡	40団体	120人	6月15日(土)12:30~16:00 (受付12:20~15:30)	西鉄ホール (福岡市中央区天神2-11-3ソラ アステージビル6F)
東京	92団体	400人	7月6日(土)12:30~16:00 (受付12:20~15:30)	池袋 サンシャインシティ 4F 展示ホール A-1 (東京都豊島区東池袋3-1-1)
大阪	76団体	220人	7月20日(土)12:30~16:00 (受付12:20~15:30)	大阪マーチャンドイズ・マート (OMMビル)2階A・Bホール (大阪市中央区大手前1-7-31)

◇参加条件:漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。

未経験者・家族連れ歓迎/参加費無料/事前の参加申込み不要(当日会場へ来場ください)
 /履歴書不要 /服装自由 /入退場自由

◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援:水産庁

若い世代から注目を集める「漁師」という仕事

国内の漁業就業者数は年々減少の一途を辿ると同時に高齢化により、次世代の担い手が不足しています。一方で、若い世代のライフスタイルが多様化し、働き方や暮らし方も変化したことで漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師を目指す若者が増えています。また、最近では新卒で漁師を考える方も増え、高校生や大学生が就職活動の一環として多数来場しています。

このような結果、フェア来場がきっかけとなり漁師への第一歩を踏み出した人や漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得て、その後漁業就業が選択肢のひとつとなった人もいます。今後も将来の担い手確保に寄与していくため、2019年度は、福岡、東京、大阪の3都市でフェアを開催します。

当日の取材も受け付けております。お気軽にご来場ください。

【問合せ先】

◇(一社)全国漁業就業者確保育成センター 電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00

◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>

◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援:水産庁

■「漁業就業支援フェア 2019」の概要

フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展、来場者は直接この出展団体ブースを訪問し、個別に相談(面談)できます。なお、個別相談(面談)の結果をもとに、フェア終了後、出展団体とマッチングして就業へ一歩近づけるケースもあります。

出展団体ブースの他、専門の相談員に漁業全般のわからない事や就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について学べる「ガイダンスコーナー」、将来の就職先のひとつに漁業を考えている学生などビギナー向けの「相談コーナー」、漁具等の展示物を見て触って漁業を体感する「展示コーナー」などを予定しています。漁師を目指す人はもちろん、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。



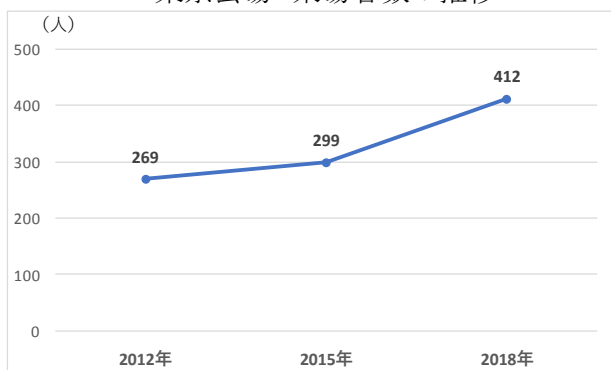
漁業就業支援フェア 2019 ポスターカット

■注目集める「漁業就業支援フェア」～東京会場は昨年過去最高の来場者数を記録!!～

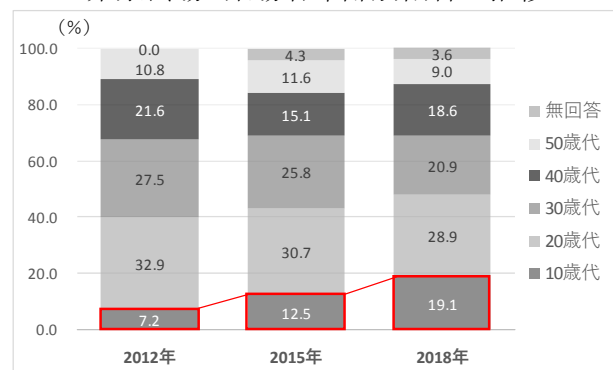
今年で17年目となる本フェアは、昨年の「漁業就業支援フェア 2018」において、約700名の方にご来場いただきました。なかでも東京会場は、過去最高の400名以上の方に来場いただき、規模が大きくなっています。また、来場者の年齢層としては、10歳代の割合が増加しており、学生を中心に若い世代からも注目が集まるフェアとなっています。

<フェアの来場者像> ※漁業就業支援フェア 2012、2015、2018の実績より

東京会場 来場者数の推移

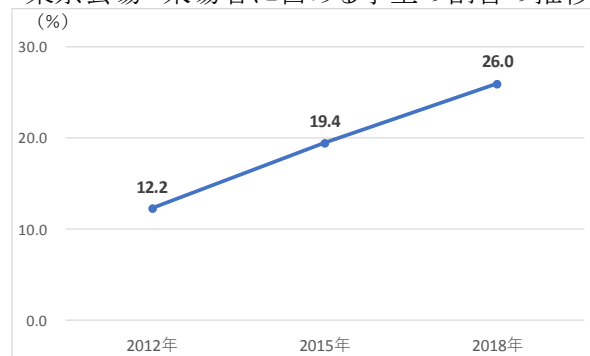


東京会場 来場者年齢別割合の推移



※漁業就業支援フェア 2012、2015、2018 東京会場 コミュニケーションカード回答者より

東京会場 来場者に占める学生の割合の推移

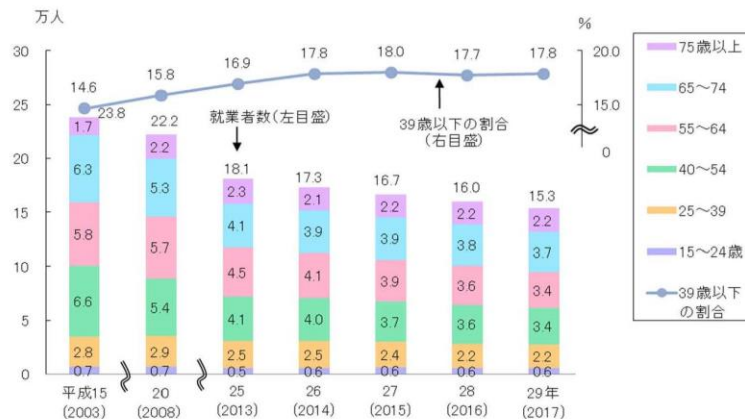


※漁業就業支援フェア 2012、2015、2018 東京会場 コミュニケーションカード回答者より

■漁業就業者数の動向

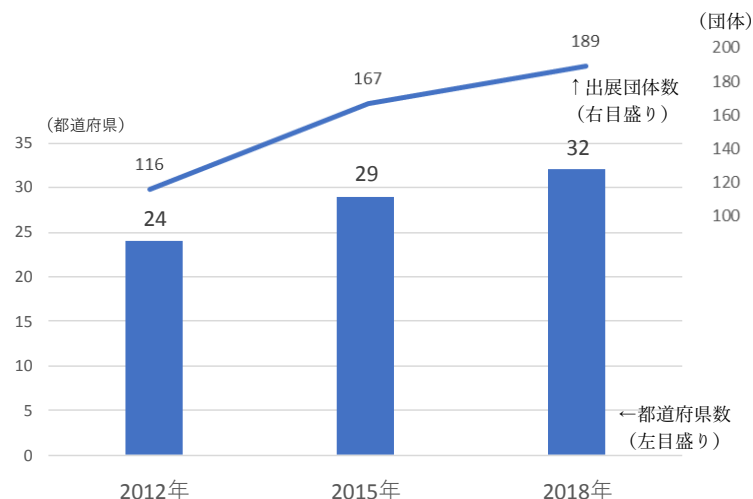
平成15年に約24万人であった漁業就業者数は、平成29年には約15万人へと減少しています。これに伴い、新規漁業者の受け入れは、今まで中心であった血縁関係に限らず、近隣地域、さらには全国へと間口を広げる地域が年々増えています。本フェアでも様々な地域の漁業者が出展をするようになり、出展団体数も増加傾向にあります。こうした結果から分かるように、担い手を受け入れたい漁業者側のニーズと、就業意向がある来場者のニーズがマッチする状況が生まれています。この流れを今後の国内漁業の持続的発展に繋げるため、担い手確保・育成する場を作り続けることが必要となります。

漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」(平成15(2003)年、平成20(2008)年及び平成25(2013)年)及び「漁業就業動向調査」(平成26(2014)～29(2017)年)
 注：1)「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者。
 2)平成20(2008)年以降は、雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまでは含まれなかった非沿海市町村に居住している者を含んでおり、平成15(2003)年とは連続しない。

漁業就業支援フェア出展団体数と出展都道府県数



※漁業就業支援フェア2012、2015、2018の実績より

当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当:馬上
 電話: 03-5545-1617(平日 10:00～17:00(土・日・祝日除く)) e-mail info@ryoushi.jp
 〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル

【HP】<http://ryoushi.jp> 【facebook】<https://www.facebook.com/ryoushi.jp> 【twitter】@ryoushi_center

※当資料は、「農政クラブ」「水産庁記者クラブ」に配布しています。